



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 齋藤庄司
編集 中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2011.6.10 第1434号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを 皆の力で」
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

無料法律相談

担当 菅原一郎弁護士 (盛岡市)

<問い合わせは地方本部へ>

当面の主な日程

- 6月18日(東京) 各地方本部組織部長会議
6月18日(八戸) 盛岡国労会館「交通基本法学習会」
6月21日(盛岡) 地方本部執行・闘争委員会
6月23・24日(青森) 東北交運労協第3回拡大幹事会
6月24日(東京) 全国交運共済生協第95回通常総代会
6月25日(盛岡) 平和環境岩手県センター 組・地区代表者会議
7月3日(盛岡) 地方貨物協議会総会
7月11日(青森) 青い森鉄道出向組合員交流会

エルダー社員制度学習会

65歳定年、より良い制度運用求める

5月14日(土) 地方本部は2011年度「エルダー社員制度学習会」を労働福祉会館(盛岡市)において関係者・役員25人が参加の中で開催した。

JR東日本では2008年度から「エルダー社員制度」が導入された。再雇用機会提供制度があくまでも再雇用の先駆けにとどまっていたのに対し、JR東日本が再雇用し原則として出向扱いするといふものです。国労東日本本部はこの間65歳定年の実現を求め続けているが会社側の壁は厚く、厳しいものとなっている。少子高齢化社会の中で年金の支給年齢が引き上げられ、60歳定年後の「生活の確保」が労働者にとって喫緊の課題となっている。この間の課題を踏まえ、より良い制度運用を求め本人の意思・希望を明確にする取り組みを強めることを意思統一した。

実態と体験を交えた報告

先輩エルダー組合員3氏

斎藤委員長は挨拶で「3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震と大津波により沿岸部を中心に甚大な被害を被り、死者・行方不明者が2万数千人にのぼり、いまだに12万人に近い被災者のみなさまが避難生活を余儀なくされるなど、大変厳しい状況が続いている。気仙沼地域分会の熊谷秀三

「エルダー社員制度」国労盛岡



「労働条件改善に努力している」と報告の高橋秀友氏(北上駅連分会)

学習会は、佐々木書記長がエルダー社員制度の概要を説明、エルダー組合員制度、相互援護会・互助会の継続加入の取り組みを訴えた。次にエルダー社員制度の実態と課題について認識を共有することから、先輩

エルダー組合員に学ぶための報告がされた。北上駅連分会高橋秀友氏(東日本アメニテック/新花巻)からは「職場にはプロパー・パート・嘱託・アルバイトなどいろいろな雇用形態や賃金形態の人がいる。希望通りにはいかなかったが通える範囲で納得した。JR社員という目で見られるので最初は早めに出社し、人より遅く帰った。コミュニケーションをとることが大切。労働環境の改善に努力している。日勤作業で体には良いが賃金が安い」。八戸工

務分会若松正純氏(仙建工業・青い森/八戸)は「年金をもらうまでは仕事を続けなければ生活できない。多く仕事をすると調整されて賃金が減るので注意しなければならぬ。病院代がかかる健康が一番」。青森電気分会山田修氏(東日本電気・青森)も「協力会社では若いプロパーが多いが育っていない、国家資格が必要なので責任者ができる人が少ない。JR時代より夜間作業が多くなったが手当てが少なく3倍違う。現職のときに財形年金や貯金を少しでも増やして自己防衛しなければいけない」など体験を交えた報告を受けた。



集会には全国から1,357人が参加

佐藤勝雄交運共済事業副本部長からは、大震災による被害状況や交運共済東北支所の取り組みの報告、エルダー組合員での共済継続契約の説明を受けた。

=6月4日・青森市=

「4・9反核の日全国集会」

第26回「4・9反核の日」全国集会が6月4日(土)青森市「青い森公園」で開催された。1985年4月9日の青森県議会の全員協議会で、核燃料サイクル施設を青森県六ヶ所村に受け入れ決定した日を、「反核の日」と位置付け、毎年全国的な行動を重ねてきた。今年の集会は、統一地方選と3・11東日本大震災により延期実施された。福島第一原発事故の影響は、六ヶ所再処理工場をはじめとする核燃料サイクルにも大きな影響を与え、中部電力浜岡原発の「停止」も今後の原子力政策に大きな影響を及ぼしている。

職場の中心に座る、軸になり 組織拡大に一歩前に踏み出そう

5月5日、水戸地本において社会人採用の新人社員(36歳)が国労へ加入をした。この加入で、2006年11月のJR東日本会社との一括和解除、復帰・加入者は90人を数えることとなった(東日本本部内)。また、4月25日には米子地方本部において54歳の方が「最後は国労で終わりたい」と強い決意で復帰している。国労復帰・加入のウネりは全国的に大きくなっている。水戸において加入した彼は4月14日に現場配属(駅)となり、国労組合員が積極的に関わり作りをおこなってきた。

結果、「仕事をはじめ公私共に指導をいただき、働く仲間を大切に人だと感じた。とりわけ、他の組合員である」と仕事を分け隔てなく教える姿勢に人間力の高さを感じたと共に、その方が所属される組合は頼りになるに間違いはないと思っ」と、加入を決意している。私たちは、この取り組みから何を学ぶのかが問われている。地方本部がこの間提起してきた「職場の中心に座る、軸になる」ことは、すなわち他労組合員の信頼を勝ち得ることであり、厳しい職場状況の中で、できない事を数えるのではなくできる事を考えていくことが大切である。

仲間の運動に学び合い、全組合員が組織の拡大にも一歩前に踏み出そう!

私たちが、この取り組みから何を学ぶのかが問われている。地方本部がこの間提起してきた「職場の中心に座る、軸になる」ことは、すなわち他労組合員の信頼を勝ち得ることであり、厳しい職場状況の中で、できない事を数えるのではなくできる事を考えていくことが大切である。

その後、主催者団体・連帯挨拶と続き、全国を代表して福島県・宮城県が現状を報告第26回「4・9反核の日」全国集会「アピール」を採択、市内をデモ行進しシュプレヒコールを行い市民にアピールした。

ていこう

全労済施設事業である岩手県雫石町の「南部富士見ハイツ」が5月31日をもって事業休止となった。今後は事業休止の方

を及ぼそうとしている。このような背景を踏まえて、反核燃の取り組みは重要性を増している中で開催となった。平和環境岩手県センター傘下組合員37人(国労3人)が参加、青森支部から国労組合員約40人、全体で約1357人の参加になった。集会は冒頭3・11東日本大震災で亡くなった犠牲者に黙祷を捧げはじめた。渡辺青森県反核実行委員会委員長が開会の挨拶で「東日本大震災で、原子力発電所が自然災害の前にはもろいものであることを鮮明にした。放射能は見えない、臭わない、怖くない。アメリカは地震のない地域に造っている、地震列島の日本を踏まえれば、原子力発電所を立地することは間違っていたと言えらる。青森県は今知事選で、現職の三村氏は原子力施設の安全性を厳しく確認するために独自の検証委員会を設置すると言っているが、原発村の人ばかりで安全を確保できるとは考えられない。今集会を機に、六ヶ所再処理工場をストップさせ、脱原発・脱プルトニウムの社会実現と自然エネルギーの転換に向け、全国の仲間と更に強く連帯し、闘って行く」と決意を訴えた。

二戸・雫石・滝沢は7月31日投票 盛岡も8月28日で議員選挙実施へ

＝推薦候補の議席確保に各地区で取り組みを＝

4月に予定されていた統一自治体選挙が3月11日の東日本大震災を受け、岩手・宮城・福島県の県市町村議員選挙が多く延期されていた。

5月に入り、岩手県内では二戸市が7月24日告示、31日投票、雫石町が7月26日告示、31日投票、滝沢村も雫石町と同じ日程、盛岡市は8月21日告示、28日投票、市長選挙と同日実施が確認された。

国労の推薦する二戸市の鈴木忠幸氏、雫石町の坂下栄一氏、滝沢村の鎌田忍氏、盛岡市の細川光正氏の議席の確保に向け各地区で仲間とともに取り組みを図っている。

組織内の木村幸弘氏、久保幸喜氏が立候補を予定する岩手県議員選挙は、6月10日時点で日程が確定していない。



市議選挙・盛岡(推薦)
細川光正
(62歳)
社民党公認・現③

☎ 019-647-6680

(プロフィール)
○誕生 1949年2月
○卒業 盛岡第三高校
○職歴 郵政省盛岡貯金局 社民党専従役員
○主な役職 現・盛岡市議会議員(現在3期目)
現・市議会教育福祉常任委員長
現・社会福祉法人自立厚生会理事長



市議選挙・二戸(推薦)
鈴木忠幸
(58歳)
社民党公認・現⑦

☎ 0195-23-4520

(プロフィール)
○誕生 1952年3月
○卒業 大船渡高等学校
○職歴 岩手県職員労働組合書記
○主な役職 現・二戸市議会議員(現在7期目)
現・社民党二戸支部幹事長
現・市議会文教福祉常任委員長
現・市都市計画審議会委員



町議選挙・雫石(推薦)
坂下栄一
(58歳)
社民党公認・現④

☎ 019-692-1996

(プロフィール)
○誕生 1952年11月
○卒業 金足農業高校
○職歴 日本電信電話公社 職員
○主な役職 現・雫石町議会議員(現在3期目)
現・社民党岩手県連合副幹事長
現・町監査委員
現・町議会総務常任委員長



常に前を向いて歩み続けたい 国労の皆さんの支援に感謝

矢中町議会議長 山崎 道夫

国労盛岡地方本部に結集する組合員、家族の皆さん、日頃、皆様方から心温まるご指導とご支援をいただき、ありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

4月に行われた矢中町議会議員選挙において、組織を率

けて力強いご支援をいただき、645票の得票で4年前と同じ第10位で再選を果たすことができました。改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

1期4年間のうちで連続して15回一般質問を行い、雇用、教育、子育てや地域産業活性化等の課題解決や前進に向けて努力してきましたが、今後もしっかりと取り組んで行かなければならないと決意を新たにしています。

また、2009年6月議会において、「JR不採用問題

の早期解決を求める請願」について、全議員の賛成で採択し、国に対して意見書を提出しましたが、この事は国労議員団の一員として大変嬉しい忘れることのできない一幕でした。

これからも国労をはじめ、多くの働く仲間の皆さんにしっかりと支えていただいていることを忘れず、常に前を向いて歩み続けたいと思っております。今後ともご指導とご支援をよろしくお願ひし、御礼のご挨拶いたします。

(主な役職等)
総務常任委員会副委員長/盛岡市・矢中町都市計画事業等組合議会議長

岩手県交通運輸産業労働組合協議会主催の「頑張りろ岩手1街を再生させる総合交通政策を展望する仲間の集い」が、5月21日に盛岡市・ホテルリスで加盟産別から58人(国労5人)が参加し開催された。冒頭「東日本大震災」で亡くなられた加盟組合員や多くの被災者に対し全員で黙祷が行われた。

柴谷正孝議長(運輸労連)は主催者を代表し「3・11の大震災は各産別の組合員・家族が亡くなり、家が全壊するなどの甚大な被害をもたらした。復旧・復興に向けて努力している事に感謝する。復旧・復興には時間もお金もかかる、国の役割をお願いする目的で今回の仲間の集いを開催した。県交運協が団結しよう」と、集いの目的などを述べ挨拶した。

続いて階級衆議院議員(岩手1区)が講演し、民主党が政府に対して提言する「東日本大震災復旧・復興ビジョン」の内容を丁寧に解説し、質問・意見をを通じて全体が学習して集いを終わった。

5月21日

大震災復旧・復興に国の支援を 岩手交運協58人の参加で集い

訂正とお詫び
国労盛岡1433号(5月10日)の2面のリーダー写真解説に誤りがありました。岩



神宮義秋採用差別国労訴訟九州原告団団長(左)からも義援金(6月18日)

3月11日の大地震に伴い全国の国労の仲間、各級機関などから支援物資や義援金、檄の色紙などが地方本部に届けられている。送られてきた支援物資は、被災地の組合員へ逐次届けている。

なお、6月5日まで義援

全国の仲間から支援物資 義援金・檄など多く届く

金・檄など寄せられた箇所は次の通り。(順不同)

- 音威子府闘争団、国労本部、国労東日本本部、博多闘争団、秋田地方本部、札幌闘争団、神奈川地区本部、九州本部、新潟地方本部、佐賀鳥栖地域分会、近畿地方本部、帯広闘争団、近畿地方本部、採用差別国労訴訟九州原告団・同静岡原告団(遺族1人)、同札幌闘争団(2人)、盛岡地本運輸協議会、岩手県交運協、岡山・広島・米子3車掌区交流会、国労大阪地方本部、国労京滋地区本部、国労岡山地区本部、国労岡山運輸協議会一同、国労近畿地方本部、国労帯広闘争団及び家族会、国労佐賀地区闘争団一同、国労長崎・佐世保闘争団組合員・家族会一同



村議選挙・滝沢(推薦)
鎌田 忍
(66歳)
社民党推薦・現④

☎ 019-688-5353

(プロフィール)
○誕生 1949年9月
○卒業 岩手大学農学部獣医科
○職歴 獣医
○主な役職 現・滝沢村議会議員(現在4期目)
現・滝沢村に家畜医院開業
元・盛岡市農協や中標津町農業共済に勤務

東北労働金庫からのお知らせ

東日本大震災により被災された方への「特別災害ローン」のご案内

東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

当庫では東日本大震災により被災された方々の生活再建と復旧を支援するため、「特別災害ローン」を取扱いたしますので、ご案内申し上げます。

- ◎特別災害ローン(無担保) 最高500万円
罹災車両の買換や修繕費用、被災による傷病にかかわる入院・治療費等、生活再建と復旧に要する生活資金としてご利用いただけます。
- ◎特別災害ローン2(無担保) 最高500万円
震災に係る必要資金と、当庫でご利用中のマイカーローン・教育ローン・リフォームローンを一本化する資金としてご利用いただけます。
- ◎特別災害ローン(不動産担保) 最高5000万円
罹災住宅の修理・改修等の復旧工事、住宅の立替費用、代替住宅の購入費用等の住宅関連資金としてご利用いただけます。

東日本大震災 ろうきん復興支援キャンペーン 大きな支援の輪で東北に元気を

東北に甚大な被害をもたらした東日本大震災。その中で遭われた子どもたちは、こころと暮らした大きな傷を受けました。

その子供たちを支えようと、ろうきんはお預かりした貯金のお利息の50%と、同額をろうきんが拠出してあしなが育英会へ寄付する、「復興支援定期預金」をスタートさせました。

子ども達の未来のために、多くの皆さまのご理解とご協力をお待ちしています。

「ろうきん復興支援定期預金」

- お預け入れ金額 50,000円以上
- お預け入れ期間 1年
- 預金種類 ◎スパー定期◎スパー定期300◎大口定期
- 寄付金 定期預金利息引後50%向額のろうきん拠出金
- 寄付先 あしなが育英会、東日本大震災津波遺児募金
- 寄付期間 2012年9月
- キャンペーン期間 2011年5月16日(月)～8月15日(月)



「問合わせ先東北労働金庫
フリーダイヤル 0120-1199-62
または、お近くの労働金庫へ